

海燕社

の小さな

映画会2025

4.27日 14時～

沖縄県立博物館 美術館 講堂(3F)

受付13:15 開場13:30 料金 1,200円(予約制) 当日1,500円

予約は海燕社まで TEL: 098-850-8485 E-mail: mail@kaiensha.jp

かいえんしゃ

九州・沖縄から

文化力

POWER OF CULTURE

後援: 沖縄県、那覇市

4月会

April 2025 Meeting

山里で暮らす

『ぜんまい小屋の暮らし』

新潟県岩船郡朝日村奥三面

制作: 民族文化映像研究所 / 1984年 / 25分

新潟県の北部、朝日連峰の懐深くに位置する奥三面（おくみおもて）。奥三面を描いた自主製作映画『越後奥三面 山に生かされた日々』の撮影の過程で生まれた短編作品のひとつ。春、5月上旬、ゼンマイ採りが始まる。子どもも大切な働き手。小中学校は10日間のゼンマイ休み。午前1回、午後1回、1人1回30キロほどのゼンマイを小屋に運ぶ。奥三面の人々は一株のうち1、2本は残すことを心得ており、採り尽くすことはない。ゼンマイにかかわる奥三面の暮らしの記録。



『西米良の焼畑』

宮崎県児湯郡西米良村

制作: 民族文化映像研究所 / 1985年 / 43分

熊本県と宮崎県の県境にある西米良村。特徴ある山里の生産背景を背負って生きてきた村である。わが国で焼畑耕作がなくなって久しい。西米良でコバ、ヤボとよぶ焼畑は、ヒエ、アワを作付ける秋コバ（ヤボ）と、主に大根やソバなどを作付ける小規模な夏コバ（ヤボ）がある。秋コバは秋に木を伐り翌春に焼き、夏コバは夏に伐って焼く。また、三、四年の作付け後の放棄期間が、秋コバは40から50年であるのに対し、夏コバは10から15年と短い。西米良村での焼畑作業とそれにかかわる儀礼の記録。



上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト (<http://www.kaiensha.jp>) や SNS にてご確認ください。

古書店 うみつばめ

URL: <http://kaiensha.stores.jp>



@KoshoUmitubame

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバーとオリジナルしおり（3種類）です。いずれかをご購入の本におつけします。よい本と出会えますように。

